

# 農の広場

登米市農業委員会だより

第28号

令和元年10月



## 農業の新時代に向かって

### 中田町 有限会社かわつらグリーンサービスのみなさん

有限会社かわつらグリーンサービスは、従業員8名のうち20代、30代が5名と若さあふれる会社（農業法人）です。

水稻44ha、大豆32ha、小麦10ha、その他にトウモロコシ、キュウリ、メロンなどを栽培し、一年を通して働ける農業を模索しているとのことでした。

これからは、ドローンなどを駆使したスマート農業を取り入れたり、今まで無かった女性用トイレやシャワー室等を整備したりして、女性従業員が働きやすい職場環境を整え、男女問わず大型農業機械を動かし、誰にでも出来る農業を目指しているそうです。

会社（農業法人）を立ち上げた先輩方から引き継いだ事業をさらに飛躍させ、これからも地域農業の牽引役を果たしていきたいと話していました。 担当：鈴木委員

## 農地利用状況調査研修会

7月11日、中田農村環境改善センターにおいて農地利用状況調査研修会が開催され、89名の調査員に委嘱状が交付されました。利用状況調査の判定の仕方や注意点などの説明があり、調査員の皆さんは熱心にメモを取っていました。調査時の注意事項としてクマ対策やスズメバチ対策に合わせて熱中症にも気配りが欲しいと話がありました。



本年度からタブレット端末が導入され、より明確に農地の位置確認ができ適正な調査ができるようになりました。「利用状況調査」「荒廃農地の発生・解消に関する調査」「農地パトロール」の3つの調査が同時に行われ、猛暑の中での調査となりました。調査の結果、遊休農地と判断された農地の所有者へ11月末までに遊休農地の利用意向について通知を出しますのでご協力をお願いいたします。  
担当：佐々木委員

## 令和元年度農業者等との意見交換会

7月18日、中田農村環境改善センターにおいて「若手農業者が魅力を感じる農業」をテーマに農業者等と関係機関の職員、農業委員による意見交換会が行われました。

参加者からは「収入、労働の面で厳しさもあるが自分の考えで農業ができ、安全安心な食べ物を作る喜びに魅力を感じ就農しているので、営農相談や経営資金等の支援を図ってほしい。登米市は、京都や東京のような観光地にはなりえないので、豊かな農村の原風景をもっとPRし、企業等が福利厚生・教育研修の場として利用される仕組みを作っては」と貴重な意見も出されました。

これらは農業委員会活動に反映するとともに市長への意見書として提出します。  
担当：阿部委員



## 平成31年度農作業標準料金・賃金表の改正について

10月1日からの消費税の引き上げに伴い、「平成31年度農作業標準料金・賃金表」を改正しましたのでお知らせいたします。改正後の「平成31年度農作業標準料金・賃金表」は、市ホームページ及び広報とめ11月号に掲載します。

なお、「平成31年度農作業標準料金・賃金表」は、農業委員会事務局、又は各総合支所（中田総合支所を除く）にありますのでご利用ください。

## 農業委員会委員視察研修会



7月2日、3日の日程で、茨城県において視察研修が行われました。1日目はつくば市の農研機構中央農業研究センターを視察しました。先端研究である自動運転農業機械の成果について動画を交えて紹介いただきました。委員からは「技術に合わせた圃場整備が必要」などの意見が出されました。

2日目は笠間市の茨城県農業総合センターにおいて、高度な環境制御装置を設置した高軒高トマトハウスを視察しました。高い品質と収量を得られる分、多額の設備投資が必要となることから、導入の実現性について活発な意見交換がなされました。

今回の視察で得られた成果を今後の農業委員会活動に活かしていきたいと思っております。 担当：櫻井委員



## 農業者年金加入推進研修会



8月5日、中田庁舎において農業委員、農地利用最適化推進委員が出席し、農業者年金加入推進研修会が開催されました。講師に宮城県農業会議の高谷忍考査役を招き「農業者年金制度と加入推進について」と題してお話をいただきました。

その中で農業者年金は3つの加入要件と5つの特徴が有ることを説明していただき、老後の生活を豊かにするために農業者年金の加入を勧めていきたいと思えます。

農業者年金について詳しく聞きたい方は近くの農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局、JAへお問い合わせください。 担当：岩淵委員

### 農業者年金 ～しっかり積立て、がっちりサポート、安心で豊かな老後を～

- ☆ 農業に従事されている方は誰でも加入できます。  
60歳未満の国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）であって年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。
- ☆ 保険料は自分で選べ、いつでも見直しができます。  
自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ（月額2万～6万7千円の間で千円単位）、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。
- ☆ 税制面で大きな優遇措置があります。  
支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります。
- ☆ 認定農業者など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります。  
認定農業者で青色申告をしている方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります。

農地・農業者年金等に関するご相談は、登米市農業委員会へお問い合わせ下さい。  
登米市中田庁舎1階 ☎0220-34-2317 メールアドレス noui@city.tome.miyagi.jp

## 農業者年金で安心を!!



すずき ようこ  
南方町 鈴木 洋子さん

洋子さんは、夫と水稻15haを耕作しながら4人の子どもを育てているお母さんです。祖父が飼育している繁殖牛の作業も手伝っているそうです。

農業者年金に加入された理由を聞いたところ、すぐに答えていただいたのが「祖父、夫も加入している農業者年金に以前から魅力を感じていました。老後、国民年金だけでは不安だったので、農業委員の勧めもあり今年3月に加入しました」とのことでした。

上の子が18歳、一番下の子が6歳なので小中高に通っていて大変なこともあります。しばらくの間子どもの成長を楽しみに仕事を頑張っていきたいと笑顔で話していました。

担当：尾張委員

## 楽しく儲かる農業を目指して

慶二さんは、平成8年に結婚を機に塩釜から豊里に came ました。

農業初体験で戸惑いながら米作りをしました。近くの人に牛を飼ったらとアドバイスを受けましたが、牛が怖くて断念したそうです。

ある時100円ショップの商法にヒントを得、周囲の反対を押し切って稲作から露地野菜(2.8ha)の多品目栽培にチャレンジし、試行錯誤を繰り返しながら今では通年で栽培出荷が出来るまでになりました。

パートさんに話を聞いたところ、この職場が大変楽しいと笑顔で答えてくれました。

一番驚いたのは23歳の娘さんが作業着姿で楽しそうに働いていたことです。

これからも無限大の可能性を持つ農業にチャレンジしていきたいと張り切っていました。 担当:豊澤委員



どい けいじ  
豊里町 土井 慶二さん

## 購読しませんか



全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。

週刊 金曜日発行 (原則月4回)  
月700円、年8,400円 (消費税込)

申し込み・お問い合わせ先  
登米市農業委員会事務局 ☎0220(34)2317

## 編集後記

朝晩めっきり涼しくなってきました。令和になり5カ月が過ぎ、10月1日より消費税が10%に上がりました。増税に伴い「軽減税率制度」が実施され戸惑っている方もいると思います。農林水産省では、令和2年度概算要求の柱立ての中に政府と体となった輸出強化、スマート農業、農地の集積集約化等による構造改革、水田フル活用と経営安定対策の実施など、8月末に財務省に概算要求書を提出しました。

登米市農業委員会は、地域での話し合いを深め、農業の「働き方改革」を進めて行きます。

これからも、農業関係の情報をわかりやすく提供していきますので、よろしくお願いたします。

### 編集委員

- 委員長 尾張 勝
- 副委員長 佐々木 まき子
- 委員 阿部 静男
- 委員 岩淵 勉
- 委員 櫻井 利光
- 委員 柴崎 専一
- 委員 鈴木 啓子
- 委員 豊澤 啓子